

吾妻山の火山活動解説資料（平成 21 年 7 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

大穴火口の噴気活動はやや高まった状態が続いていますが、地震活動などに特段の変化はありません。火口内では噴気、火山ガスの噴出等がみられますので警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

大穴火口の噴気活動はやや高まった状態が続いています。上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、噴気の高さは 50～200m で推移しています。火口内では噴気、火山ガスの噴出等が見られますので、警戒が必要です。

・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 5～6）

広域の GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

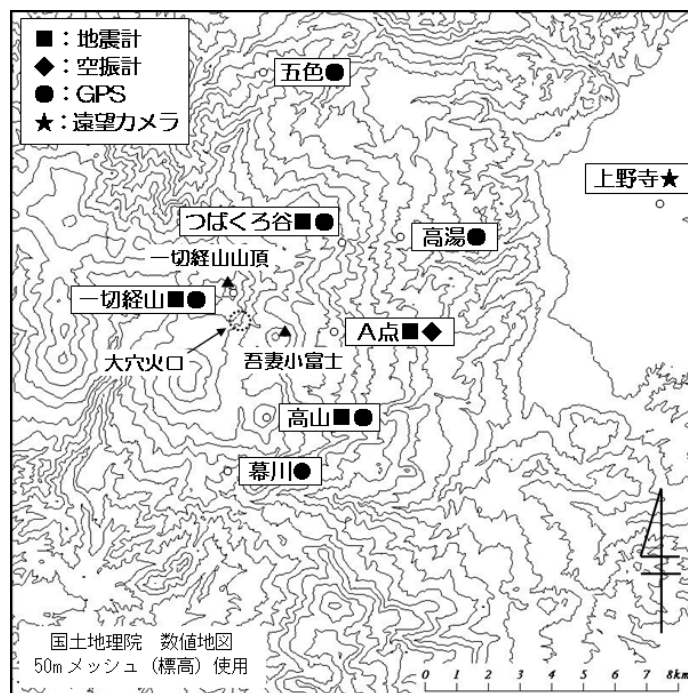


図 1 吾妻山 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 8 月分）は平成 21 年 9 月 8 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。



図 2 吾妻山 大穴火口からの噴気の状態（7 月 17 日 08 時 03 分頃）
 福島市上野寺に設置した遠望カメラによる（大穴火口から東北東約 14km）
 大穴火口からの噴気の高さは 200m。

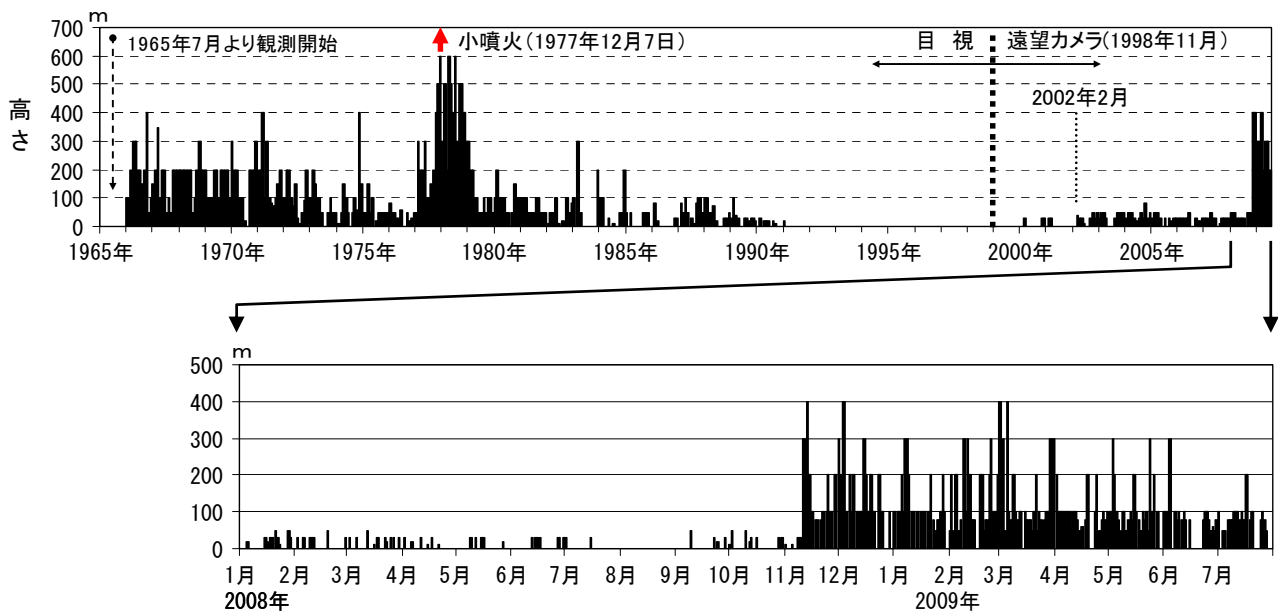


図 3 吾妻山の噴気の高さ 上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965 年 7 月～2009 年 7 月）
下段：日別最大噴気高（2008 年 1 月～2009 年 7 月）

1998 年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約 20km）からの目視観測です。

1998 年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約 14km）による観測です。

2002 年 2 月以前は定時（09 時、15 時）及び随時観測による高さです。

2002 年 2 月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

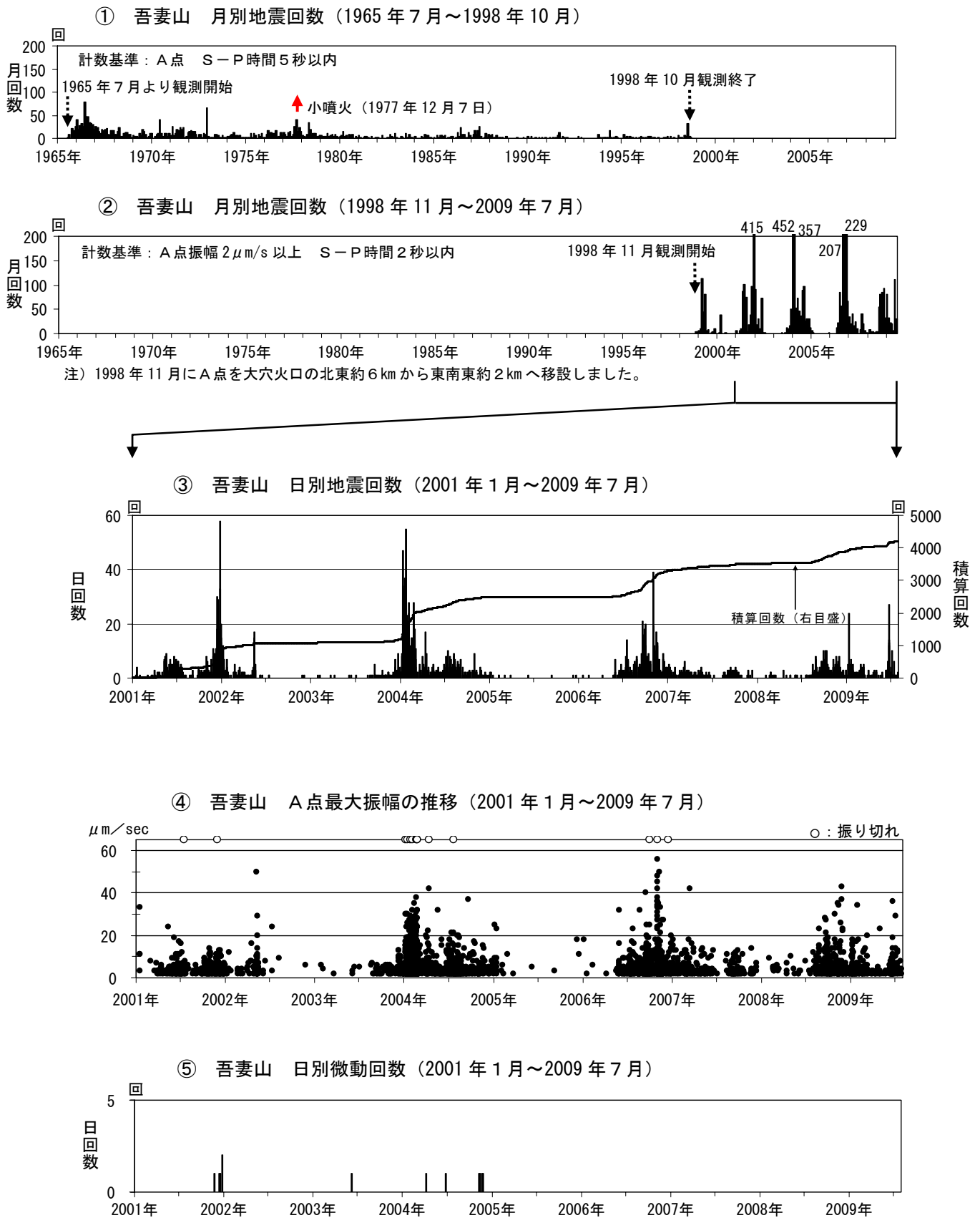


図 4 吾妻山の地震活動経過図

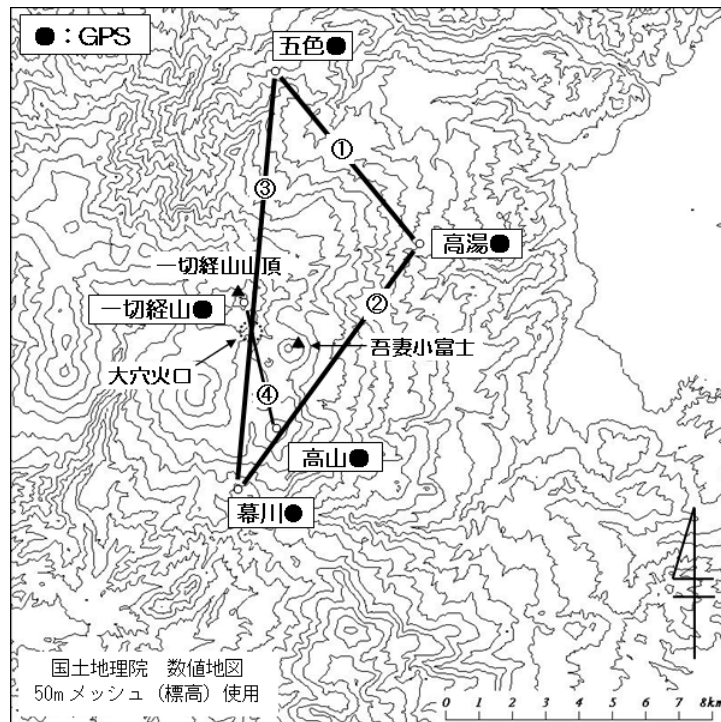


図5 吾妻山 GPS 観測点配置図

GPS 基線①～④は図6の①～④に対応しています。

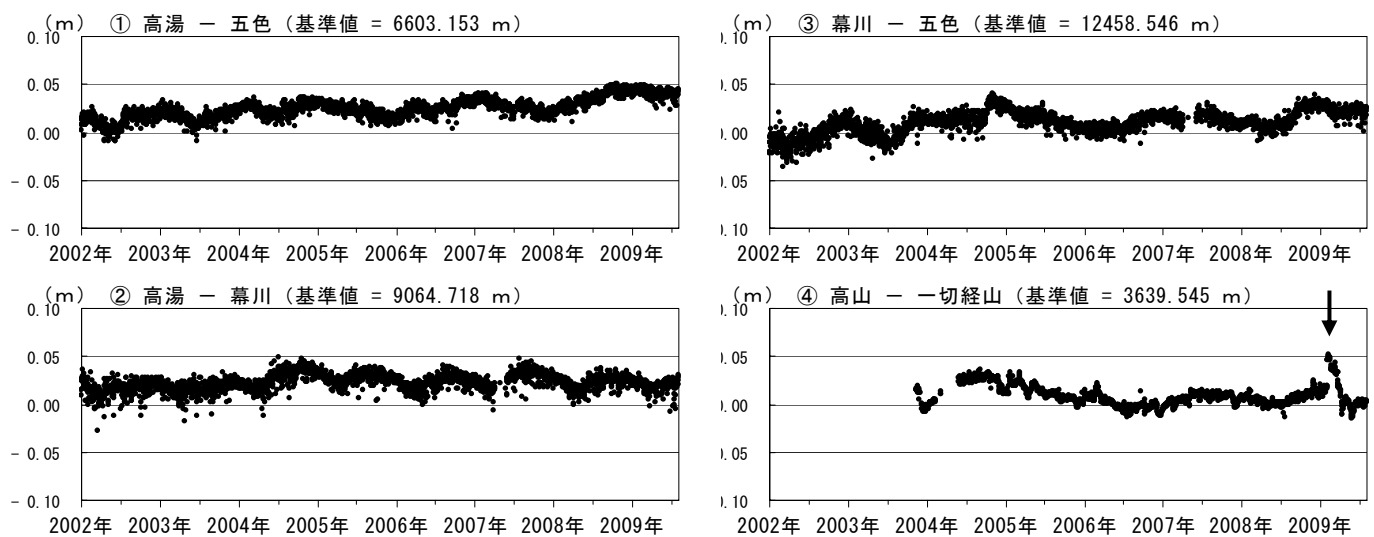


図6 吾妻山 GPS 基線長変化図（2002 年 1 月～2009 年 7 月）

①～④は図5のGPS基線①～④に対応しています。

幕川観測点が障害のため、一部に欠測があります。

④の「高山－一切経山」の基線で、2009 年 2 月から 4 月にかけて異常な基線変化（↓部分）がみられますが、その他の観測データに特段の変化はなく、火山活動に起因しない高山観測点の異常値によるものと推定されます。